真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	保育料無償化支援事業	担当課・係	健康福祉部　保育課　保育係
政策名　No	2　「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連するSDGs･DX	
施策名　No	1　子育て支援の充実		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	真岡市で子育てしたいと思う親の割合	%	98.5					維持

事業内容

①多子世帯保育料等支援事業
　令和元年10月から幼児教育・保育無償化により、３～５歳児の保育料は無償。０～２歳児の保育料について、経済的負担軽減を図るため、保育所、認定こども園等に在園している第２子以降の児童の保育料を免除する。
②補足給付事業
　保育所、認定こども園、私立幼稚園に在園している第２子以降の副食費を助成。
　令和７年度は重点支援地方交付金を活用し、第１子の副食費を公定価格（R7は4,900円）を上限に助成。

前年度の課題（Check）

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

①保育料　第２子　66,457,500円（県・市1/2）
　　第３子　25,354,400円（県・市1/2）
　　未移行幼稚園第３子以降　127,200円（市単独）
②副食費　第２子　21,800,640円（市単独）
　　第３子　11,368,140円（県・市1/2）
　　未移行幼稚園第２子以降　2,391,160円（国・県・市1/3）
　　第１子　32,389,390円（国　重点支援地方交付金）

【２】結果と課題（Check）

０～２歳児の第１子の保育料並びに３～５歳児の第１子の副食費については、実費徴収であるが、令和７年度の第１子副食費については、重点支援地方交付金を活用し、保護者の経済的負担の軽減に大きく寄与することができた。
今後も、継続して副食費の助成を続けることができるかが課題である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

０～２歳児の第１子保育料並びに３～５歳児の第１子の副食費の国及び県の財政支援について、積極的に働きかけを実施。
重点支援地方交付金等の国庫補助等の継続的な活用

（2）長期的な計画で検討すること